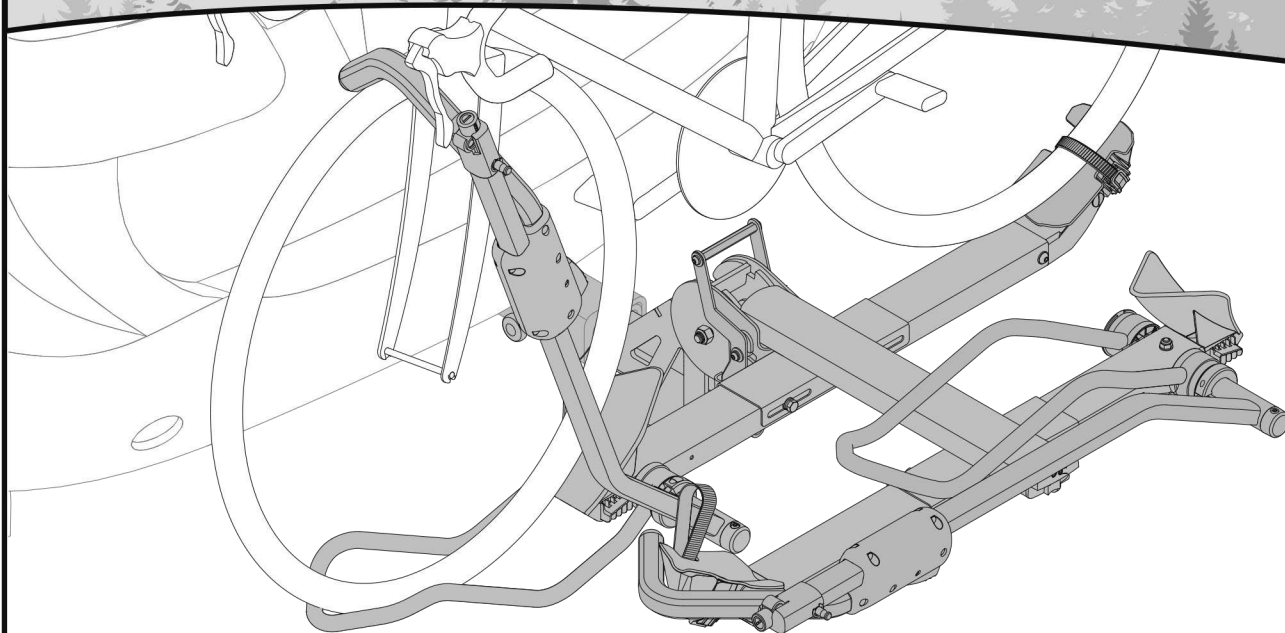


YAKIMA

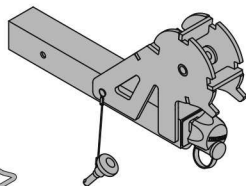
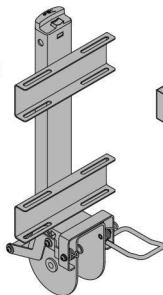
HoldUp Evo



コンテンツ

スパイン(x1)

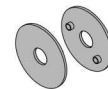
鍵(x2)



トング(x1)

レンチ(x2)

ナット(x1)



スペーサー(x2)



ワッシャー(x2)



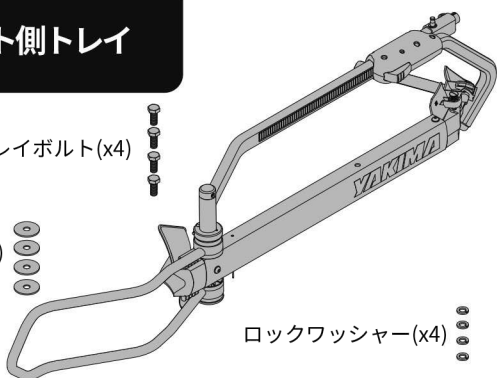
スパインボルト(x1)

フロント側トレイ

トレイボルト(x4)

ワッシャー(x4)

ロックワッシャー(x4)

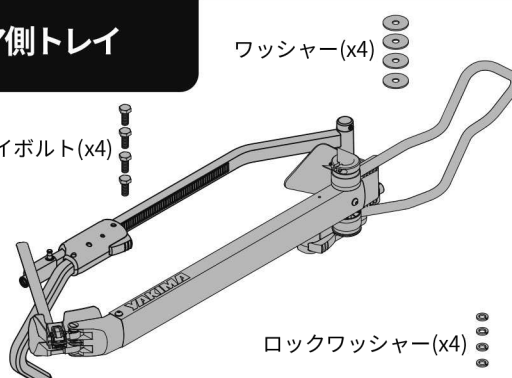


リア側トレイ

ワッシャー(x4)

トレイボルト(x4)

ロックワッシャー(x4)



耐荷重



1台あたり = 50ポンド/ 22.7kg

取り付け

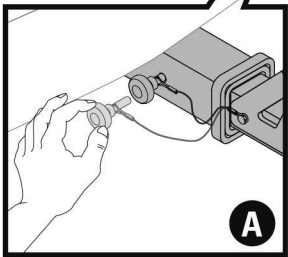
1

延長レシーバー等とは
併用しないでください。

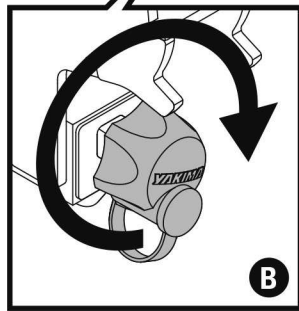
穴位置を合わせる

- ・トングをヒッチレシーバーに挿入します。
- ・トングの穴位置をヒッチレシーバーの
穴に合わせてください。

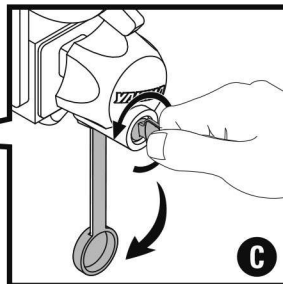
2



A



B

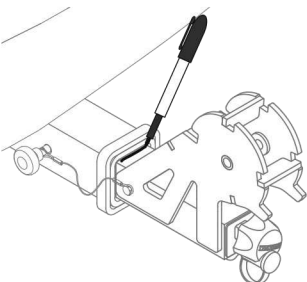


C

- A.セーフティピンを差し込みます。
B.トングの位置を調整をしながら、ノブを完全に締めます。
C.ノブをロックします。(ロックするとノブは回転します)

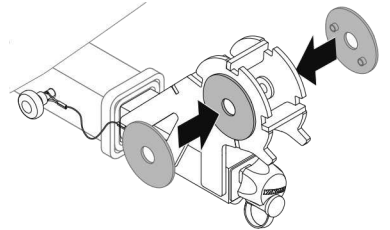
ヒント

油性ペンで線を引いておくと、
次回キャリアを取り付けるときに
トングをどこまで差し込めばよいかが
わかります。



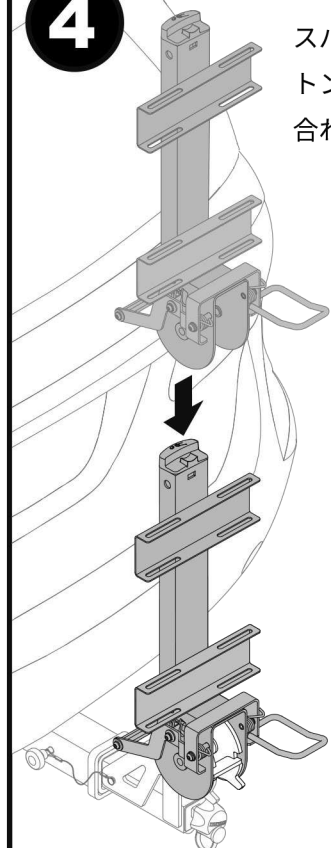
3

図のように、スペーサーで
挟み込みます。



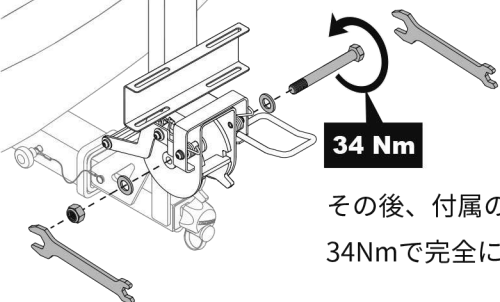
4

スパインと
トングを
合わせます。



5

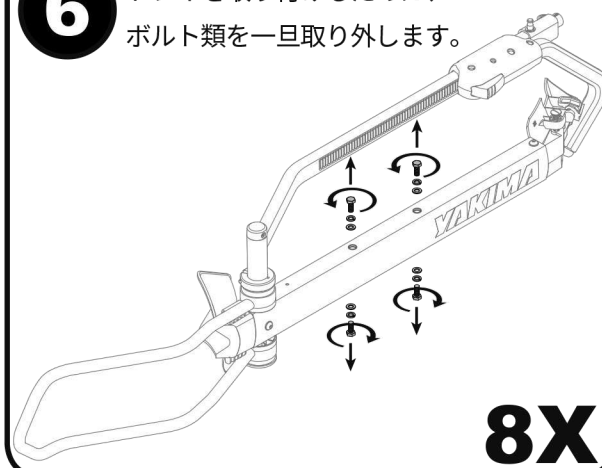
スパインボルト、ワッシャー、ナットを取り付けます。
ボルトを通すために、スパインを小刻みに動かして調整します。

**34 Nm**

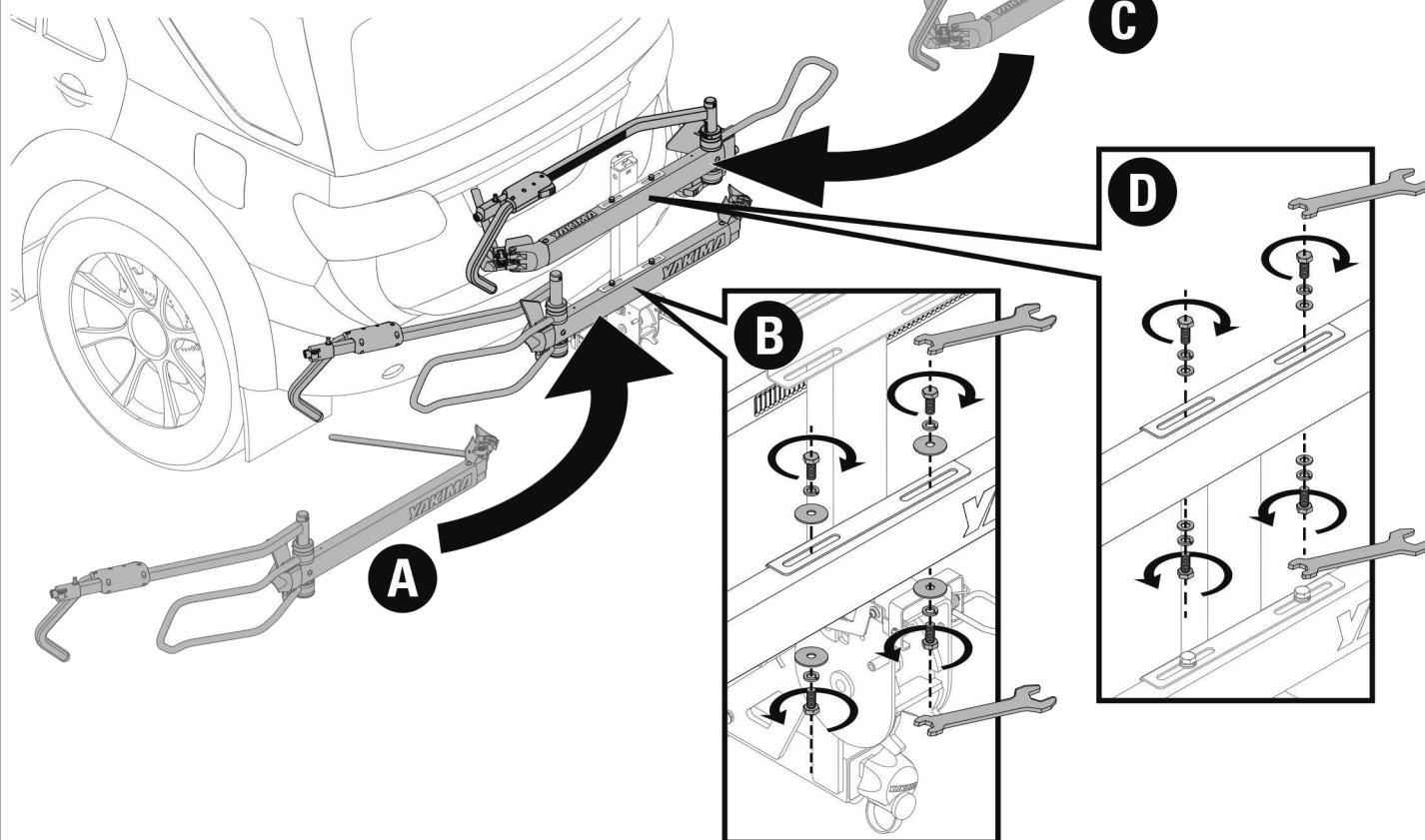
その後、付属のレンチを使って
34Nmで完全に締めます。

6

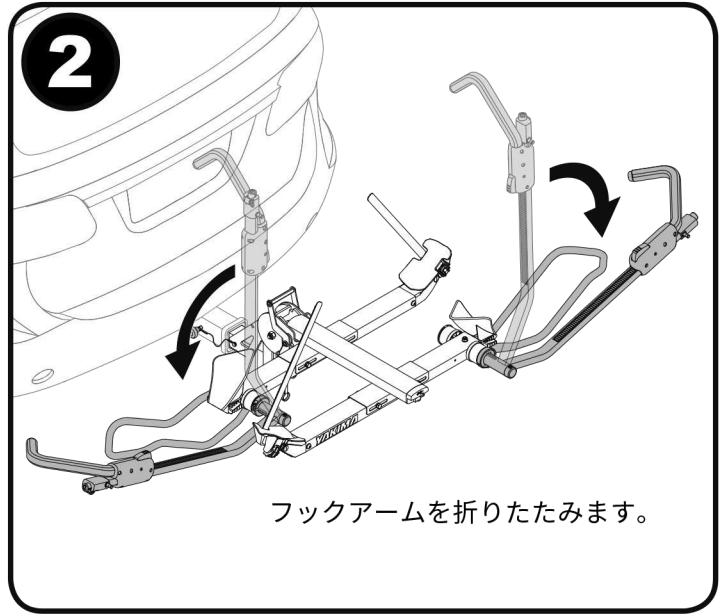
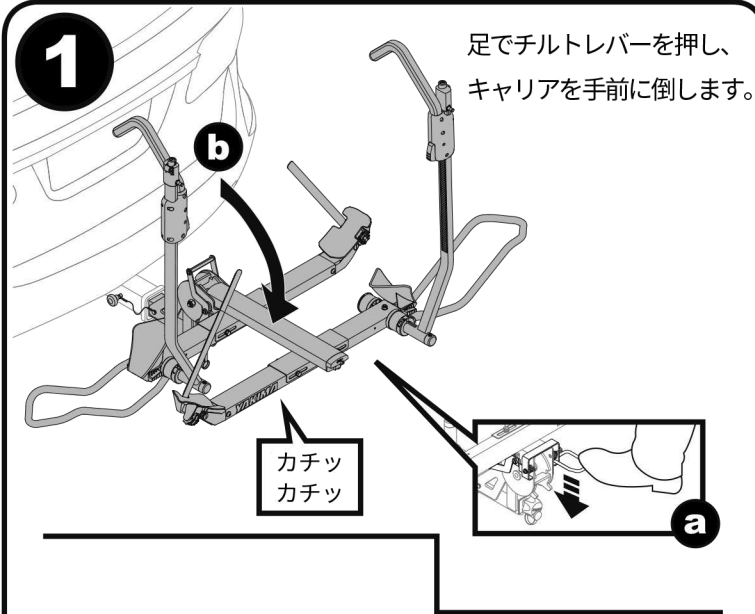
トレイを取り付けるために、
ボルト類を一旦取り外します。

**8X****7**

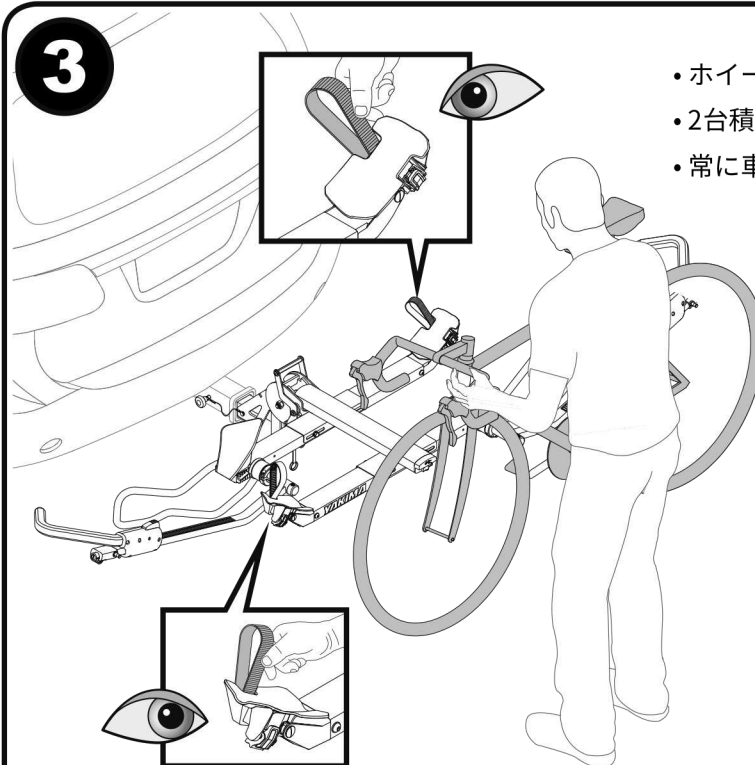
- A. フロント側トレイを、下部の所定の位置にセットします。大きなヤキマのステッカーが貼ってある部位です。ステッカーが右側になるようにトレイをセットします。
- B. ボルト類を取り付け、23Nm のトルクで完全に締め付けます。
- C. リア側トレイを、上部の所定の位置にセットします。
- D. ボルト類を取り付け、23Nm のトルクで完全に締め付けます。



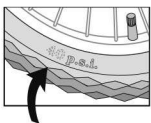
積み込み



注意：フックアームは、自転車が積み込み易いように180度以上展開できるようになっています。
自転車を積んだ後は必ずアームを起し、フロントタイヤを固定する位置まで戻してください。



注意：自転車のフェンダーがアームに干渉する場合は、安全のためにフェンダーを取り外してください。



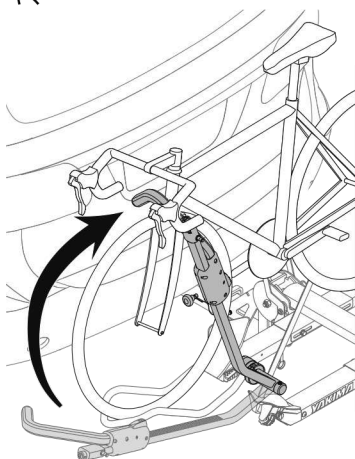
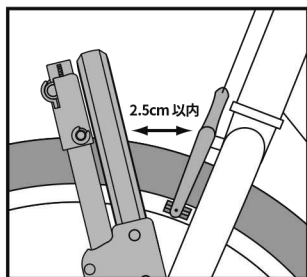
注意：自転車のタイヤがパンクしていたり、空気漏れがある場合は、自転車を積載しないでください。
タイヤの空気圧が低下した状態での自転車積載は非常に危険です。



注意：自転車を積載した状態でホールドアップEVOをチルトする際は、必ずスパインを手で支えて展開してください。

4

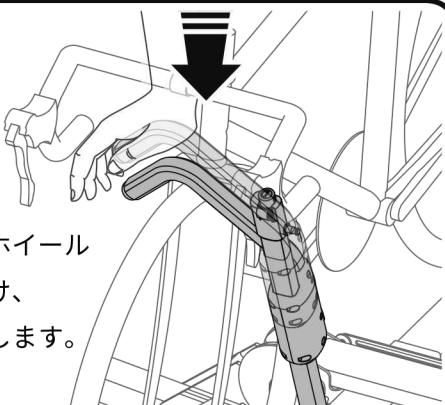
フックアームを起し、フックがブレーキ、またはフォークから2.5cm以内の位置で自転車のタイヤにかかるようにします。



フックが正しい位置にセットされていない場合、自転車が外れ、人身事故や物損事故を引き起こす恐れがあります。

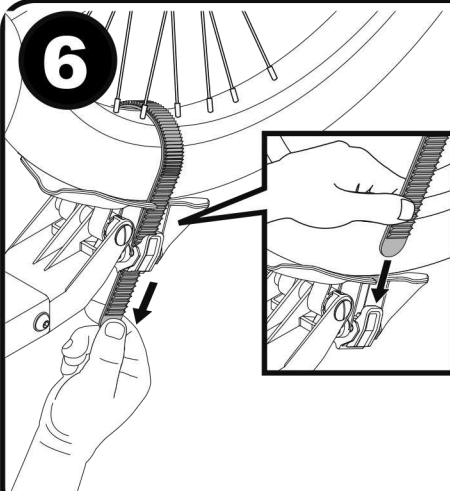
5

フックをホイールに押し付け、強く固定します。



6

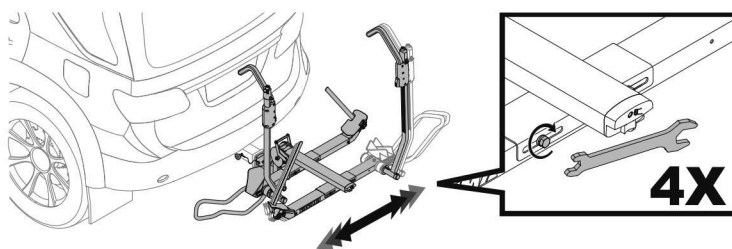
ストラップでホイールを固定します。
エアバルブを避けて通してください。
ストラップの端をバックルに通し、引き下げて締めます。



7

2台目の自転車を積み込みます。
自転車の方向を左右交互にします。
説明書のステップ③～⑥を参照して2台目のバイクを積載します。

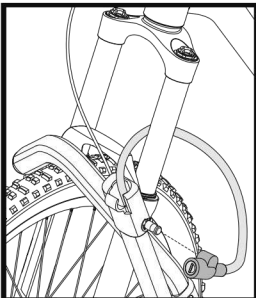
2台のバイクを積載する際に、バイク同士の干渉がある場合は、トレイの幅を調整し、バイク同士の干渉をなくしてください。



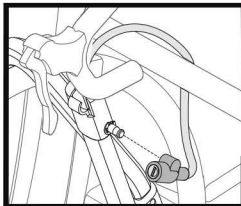
- トレイのボルト4本を緩めます。
(ボルトは外さないでください)
- トレイを左右にスライドさせます。
- トレイのボルト4本を締め付けます。
- どちらのトレイも調整可能です。

8

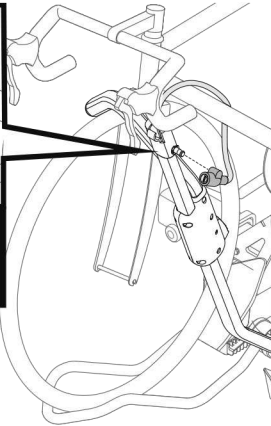
自転車を運搬する場合は、必ずロッキング・ケーブルを使用してください。



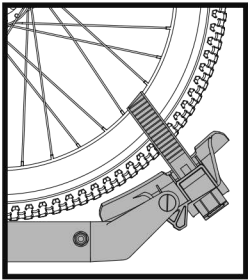
サスペンション・フォーク
(マウンテンバイクの場合)



バイクフレーム
(ロードバイクの場合)



- ・各フックアームの端にあるロッキング・ケーブルを取り出します。
- ・ロッキング・ケーブルを自転車のフレームに巻き付けます。
- ・フックアームのピンをロッキング・ケーブルの端の穴に挿入し、ロックします。



重要：20インチホイール自転車で、ホイールベースが35インチ未満の場合、後輪がホイールカップまで届かないことがあります。(図参照)

ホイールストラップがしっかりと締めつけられ、バックルに固定されてことを確認してください。

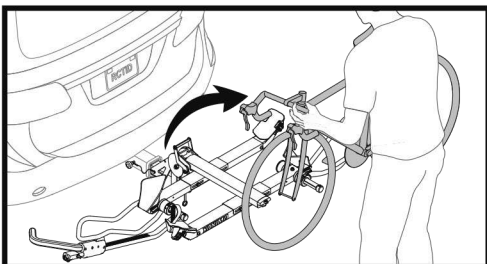
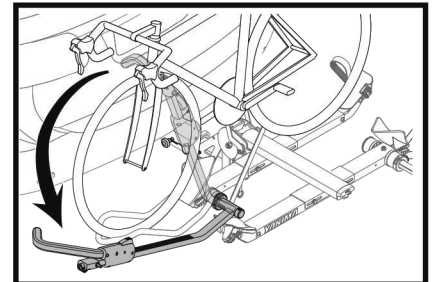
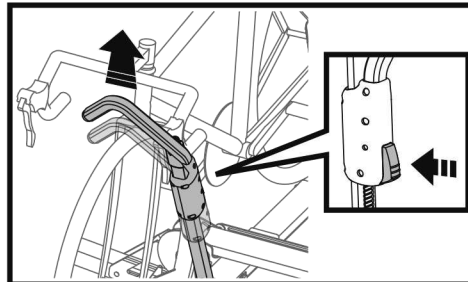
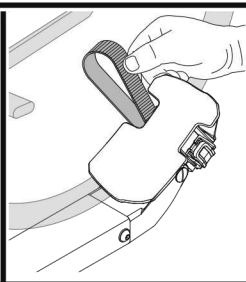
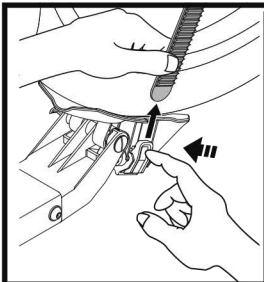
また、タイヤの空気圧が十分で、タイヤがトレイの中央にあることを確認してください。



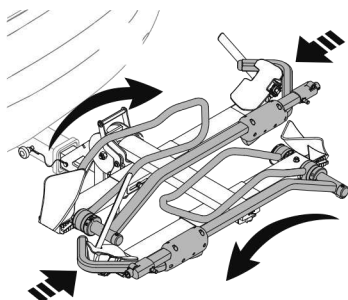
運転前に取り付け状態を確認してください。

- ・アームがタイヤに強く押し付けられているか確認してください。
- ・後輪がホイールストラップで固定されていることを確認してください。
- ・すべての金具が説明書に従って固定されていることを確認してください。
- ・自転車を積載しない場合は、必ずフックアームを閉じて、固定してください。(7ページを参照)

積み下ろし



- ・ホイールストラップを外し、後輪にかからないように、しまいます。
- ・ボタンを押してフックを上げます。
- ・バイクを支えながらフックアームを下げます。
- ・慎重に自転車を下ろします。

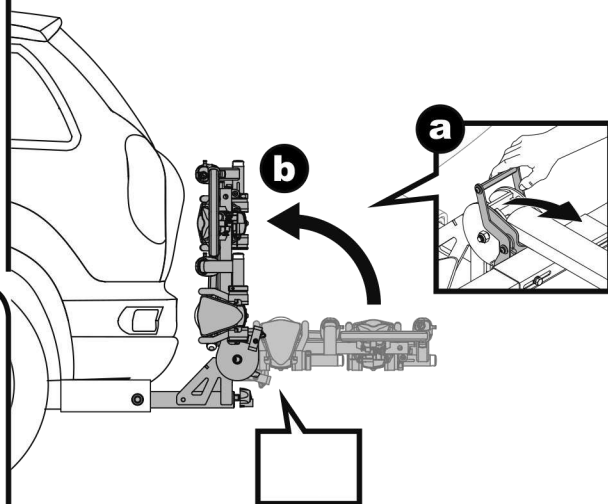


自転車を積載しないときは、フックアームを閉じ、しっかりと固定してください。

- ・フープを内側に折りたたみます。
- ・フックアームを縮め、ホイールトレイにひっかけます。
- ・ストラップでフックアームを固定します。

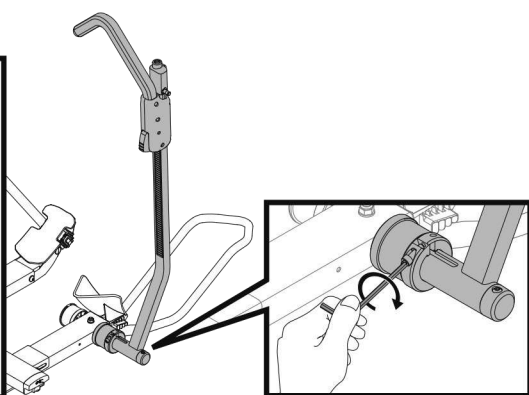
自転車を運搬しないときは、必ずホールドアップEVOを折りたたんでください。

チルトレバーを引き、ロックが固定される位置まではねあげます。

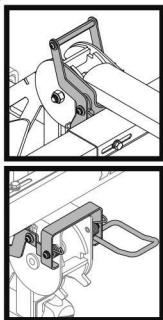


注意

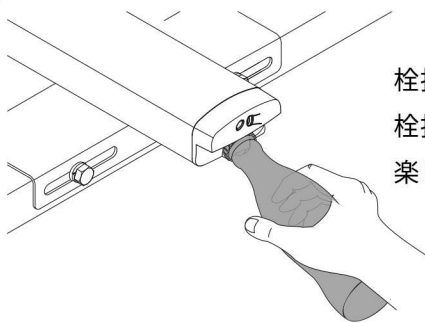
締めすぎないこと！



定期的にフックアームのテンションを調整してください。
5mmの六角レンチを使用してください。



チルトレバーを持ってキャリアを運ばないでください。



栓抜き：商品に備え付けられている栓抜きを使えば、冷たい飲み物が楽しめます！

取り外し

1. 自転車を降ろし、フープを畳み、フックアームを固定します。
2. セーフティピンを外します。
3. ロックを解除し、ノブを緩めます。
4. キャリアを取り外し、安全な場所に保管してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>

重要



- ・ホールドアップ EVOの最大耐荷重は、自転車1台あたり22.7kgとなります。
- ・トレーラー、キャンピングカーには取り付けないでください。
- ・スペアタイヤが自転車や折りたたんだキャリアに干渉する場合は、使用しないでください。
- ・フロントフェンダー付き自転車には使用できません。
- ・自転車を積んだままオフロードを走らないでください。
- ・自転車のタイヤを固定する際は、マフラーの排気口に重ならないようにしてください。
- ・キャリアを取り付けたまま自動洗車機を使用しないでください。
- ・自転車のタイヤが、推奨空気圧を満たしているかを確認してください。
- ・ベビーシート・荷物バッグ・フェンダー・雨カバーを取り付けた自転車、もしくは 電動自転車は積載しないでください。



サイズの小さいヒッチレシーバーでは取り付けができない場合があります。ヒッチレシーバーのサイズが分からない場合は、自動車専門店で相談してください。

注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしての取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のような時に確認してください。

- ・出かける前
- ・ラックまたは積載物を載せた後
- ・短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・長時間の移動では定期的に
- ・悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で保管してください。(冬期は特に)

水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモニアム添加剤が入っている液体は使用しないでください。

燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。

紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外のスペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それによって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。

本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。